

# 成人・老年看護学実習

## I. 目的

成人期・老年期の特徴を理解し、対象およびその家族に適切な看護ができる知識・技術・態度を修得する。

## II. 目標

### 1. 成人・老年看護学実習 I

- 1) 成人期・老年期にある対象とその家族を理解する。
- 2) 対象の健康状態に応じた援助ができる。
- 3) 看護者としての姿勢、態度を身につけ自己の課題の達成に向け努力できる。

目標	行動目標
1) 成人期・老年期にある対象とその家族を理解する。	①対象の病態生理、治療、受け持つまでの経過が述べられる。 ②対象の現在ある症状、既往歴が述べられる。 ③対象の入院前の生活状態・本人の認識・家族の思いについて述べられる。 ④対象の生命過程から解決すべき課題、もてる力・残された健康な力を判断できる。 ⑤対象の生活過程から解決すべき課題、もてる力・残された健康な力を判断できる。 ⑥状態の変化に合わせて解決すべき課題、もてる力・残された力を判断できる。
2) 対象の健康状態に応じた援助ができる。	①対象の全体像のアセスメントを行い、ケアの方向性を導き出すことができる。 ②ケアの方向性に沿った計画を立案できる。 ③計画に基づいて安全・安楽に実施できる。 ④看護を実施した結果を整理できる。 ⑤実施した結果から必要に応じてアセスメントをし、行い整える内容を変更することができる。 ⑥実施した援助をケアのもののさしを用いて評価できる。
3) 看護者としての姿勢、態度を身につけ自己の成長に向け努力できる。	①その場に応じた挨拶、言葉遣い、身だしなみ、態度がとれる。 ②報告、連絡、相談ができる。 ③対象と家族の思いを尊重し、主体的にコミュニケーションをとることができる。 ④グループメンバーと協力ができる。 ⑤積極的に専門知識・技術の学習、技術の経験ができる。 ⑥自分の言動に責任が持てる。 ⑦自己の課題を明らかにし、達成に向けて行動できる。

### 2. 成人・老年看護学実習 II

- 1) 成人期・老年期にある対象とその家族を理解する。
- 2) 対象の健康状態に応じた援助ができる。
- 3) 社会資源の活用と、保健・医療・福祉の連携について考えることができる。
- 4) 組織としての医療安全の取り組みを理解する。
- 5) 看護師としての姿勢、態度を身につけ、自己の課題の達成に向け努力できる。

目標	行動目標
1) 成人期・老年期にある対象とその家族を理解する。	①対象の病態生理、治療、受け持つまでの経過が述べられる。 ②対象の現在ある症状、既往歴、使用薬剤が述べられる。 ③対象の入院前の生活状態・本人の認識・家族の思いについて理解できる。 ④受け持ち後の対象の病態と治療の経過を述べられる。 ⑤対象の生命過程から解決すべき課題、もてる力・残された健康な力を判断できる。 ⑥対象の生活過程から解決すべき課題、もてる力・残された健康な力を判断できる。 ⑦状態の変化に合わせて解決すべき課題、もてる力・残された健康な力を判断できる。
2) 対象の健康状態に応じた援助ができる。	①対象の全体像のアセスメントから、ケアの方向性を導き出すことができる。 ②ケアの方向性に沿った計画を具体的に立案できる。 ③計画に基づいて対象の状態を判断し、安全・安楽に実施できる。 ④看護を実施した結果を整理できる。 ⑤実施した結果からケアの方向性に向かっているか、病状を踏まえアセスメントができる。 ⑥アセスメントから、必要に応じて行い整える内容を変更することができる。 ⑧実施した援助をケアのものさしを用いて評価できる。
3) 社会資源の活用と、保健・医療・福祉の連携について考えることができる。	①家族の介護状況について述べられる。 ②対象に必要な社会資源について述べられる。 ③対象に必要な保健・医療・福祉がどのように連携されているか述べられる。
4) 組織としての医療安全の取り組みを理解する。 (3 年次成人Ⅱ)	①病院内で安全対策がどのように行われているか言える。 ②看護部としてどのように取り組んでいるか言える。 ③個々の看護師の責任がわかる。
5) 看護者としての姿勢、態度を身につけ、自己の向上に努めることができる。	①報告、連絡、相談ができる。 ②対象と家族の思いを尊重し、主体的にコミュニケーションをとることができる。 ③グループメンバーと協力ができる。 ④積極的に実習に取り組むことができる。 ⑤自分の言動に責任が持てる。

### Ⅲ. 実習単位

各実習 3 週間      2 単位      90 時間

### Ⅳ. 実習場所

滝川市立病院      3 階西、4 階東、4 階西、5 階西、6 階西病棟

### Ⅴ. 方法

1. 患者を 1 名受持ち、新 KOMI チャートシステムを使用し、看護過程を展開する。
2. 成人看護学実習Ⅰ、老年看護学実習Ⅰ・Ⅱの実習期間中に、集中治療室、手術室の見学、人工透析室の見学を行う。
3. 成人看護学実習Ⅰ、老年看護学実習Ⅰ・Ⅱでの学びを実習報告会で発表する。
4. 成人看護学実習Ⅱでの実習を事例研究としてまとめ発表する。